※令和４年度以降入学生用

学校番号	206

令和５年度　英語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
英語	創造英語	2	2	自作教材等

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

骨太英語など、１年生での学習内容を基盤とし、聞くこと、読むこと、話すこと（やりとり）、話すこと（発表）、書くことの４技能５領域を高めながら、アウトプットに重点を置き、英語力の向上を図ります。論理的及び多角的、創造的思考を養い、AI 技術の急激な進化や COVID-19 などの疾病、台風、地震等災害など、予測が難しい VUCA（Volatility, Uncertainly, Complexity, Ambiguity）の新時代に対応した力を、英語を通じて身につけていきましょう。

２ 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第２学年】

領域	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	読んだり聞いたりした内容を要約し、理由や例えとともに、自分の意見を相手へ伝え、即興で質問に答えることができる。	既習内容を活用し、自分の意見やアイデアを明確な根拠とともに、聞き手へ伝えることができる。	既習内容を活用し、理由や例えを列挙しながら、自分の意見を複数の段落で構成し、書くことができる。

３ 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	英語コミュニケーションⅡや論理・表現Ⅰ、骨太英語で学んだ知識・技能をさらに深め、既習内容をその目的、場面、状況に応じた実際の場面で、適切に活用することができる技能を身に付けている。	他者と協働しながら、論理的かつ多角的に英文にふれ、話し手や書き手の意図を的確に捉え、創造的に表現したり、伝え合ったりしている。	他者と協働しながら、論理的かつ多角的に英文にふれ、話し手や書き手の意図を的確に捉え、創造的に表現したり、伝え合おうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1	英語コミュニケーション及び論理・表現Ⅱの内容と関連したトピック	話すこと （やりとり）	a: 本課で学習する語彙や英文の理解を基に、英語で意見を伝え合い、ディスカッションする技能を身に付けている。 b: 日常的及び社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを論理的に多角的な視点で伝え合うことができる。 c: 日常的及び社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や感あげ、気持ちなどを論理的に多角的な視点で伝え合おうとしている。	ペアワーク ディスカッション ディベート 振り返り
	中間考査			
	英語コミュニケーション及び論理・表現Ⅱの内容と関連したトピック	話すこと （発表）	a: 本課で学習する語彙や英文の理解を基に、根拠を提示しながら英語で意見やアイデアを伝える技能を身に付けている。 b: 日常的及び社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを論理的に多角的な視点で伝えることができる。 c: 日常的及び社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを論理的に多角的な視点で伝えようとしている。	プレゼンテーション プレゼンテーション 原稿 振り返り
		書くこと	a: 本課で学習する語彙や英文の理解を基に、根拠を提示しながら英語で意見を書く技能を身に付けている。 b: 日常的及び社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを論理的に多角的な視点で書くことができる。 c: 日常的及び社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを論理的に多角的な視点で書こうとしている。	ライティングタスク 振り返り
	期末考査			
2	英語コミュニケーション及び論理・表現Ⅱの内容と関連したトピック	話すこと （やりとり）	a: 本課で学習する語彙や英文の理解を基に、英語で意見を伝え合い、ディスカッションする技能を身に付けている。 b: 日常的及び社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを論理的に多角的な視点で伝え合うことができる。 c: 日常的及び社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や感あげ、気持ちなどを論理的に多角的な視点で伝え合おうとしている。	ペアワーク ディスカッション ディベート 振り返り
	中間考査			
	英語コミュニケーション及び論理・表現Ⅱの内容と関連したトピック	話すこと （発表）	a: 本課で学習する語彙や英文の理解を基に、根拠を提示しながら英語で意見やアイデアを伝える技能を身に付けている。 b: 日常的及び社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを論理的に多角的な視点で伝えることができる。 c: 日常的及び社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを論理的に多角的な視点で伝えようとしている。	プレゼンテーション プレゼンテーション 原稿 振り返り
		書くこと	a: 本課で学習する語彙や英文の理解を基に、根拠を提示しながら英語で意見を書く技能を身に付けている。 b: 日常的及び社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを論理的に多角的な視点で書くことができる。 c: 日常的及び社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを論理的に多角的な視点で書こうとしている。	ライティングタスク 振り返り
	期末考査			
3	英語コミュニケーション及び論理・表現Ⅱの内容と関	話すこと （やりとり）	a: 本課で学習する語彙や英文の理解を基に、英語で意見を伝え合い、ディスカッションする技能を身に付けている。 b: 日常的及び社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを論理的に多角的な視点で伝え合うことができる。	ペアワーク ディスカッション ディベート 振り返り

※令和４年度以降入学生用

	連したトピック		c: 日常的及び社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や感あげ、気持ちなどを論理的に多角的な視点で伝え合おうとしている。	
		話すこと（発表）	a: 本課で学習する語彙や英文の理解を基に、根拠を提示しながら英語で意見やアイデアを伝える技能を身に付けている。 b: 日常的及び社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを論理的に多角的な視点で伝えることができる。 c: 日常的及び社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを論理的に多角的な視点で伝えようとしている。	プレゼンテーション プレゼンテーション原稿 振り返り
		書くこと	a: 本課で学習する語彙や英文の理解を基に、根拠を提示しながら英語で意見を書く技能を身に付けている。 b: 日常的及び社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを論理的に多角的な視点で書くことができる。 c: 日常的及び社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを論理的に多角的な視点で書こうとしている。	ライティングタスク 振り返り
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度